



ふるさと学習教材
「わたしたち大山町」

越して来ました。

「鳥取に来ることは一大決心。正直、仕事があるか不安でした」と話してくれた朝倉さん。

現在は国内外からの依頼に作品を提供するだけでなく、鳥取県や大山町の仕事も数多く手がけています。「人のつながりから仕事を依頼されることもあり、それが町ならではのよう感じ、おもしろい」と言います。

『大山寺開創一三〇〇年 結願法要』や『大山夏山開き祭』のポスター、昨年からは大山町の小学生が地域を学ぶふるさと学習教材『わたしたちの大山町』にも朝倉さんの作品が使用されています。

「大山に来て、絵を描くことについて何か変わったことは？」という質問に、「こちらに来るまでは憧れの自然をモチーフに描くことが多かったけれど、大山町に来てからは、自然の勢いに五感を刺激されて、身近な自然にヒントを得て制作をスタートすることが増えた」と言います。

朝倉さんは作品の制作のみならず、



手をとって一緒に壁画制作をする朝倉さん (2018年のワークショップにて)

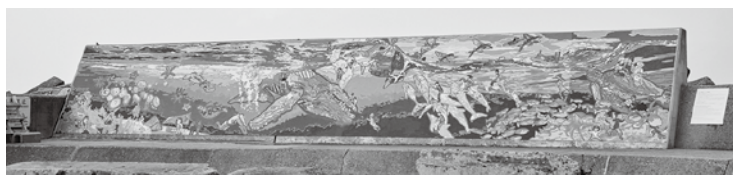
ワークショップへの参加も勢力的に行なっています。

東京都杉並区の小学校ではじまった、子どもたちの壁画作品の制作は、大山町で『みんなの壁画プロジェクト』となり、町内では大山と御来屋で行われ、多くの方が町内外から色塗りに参加し、朝倉さんの独特な色彩の世界を体感しました。

親子でワークショップに参加した方は、「アーティストと一緒に作品制作をすることができるとは思えなかった。芸術が身近に感じられ、参加できてよかった」と話していました。

自らを「大山町の絵かき」と自己紹介することもある朝倉さん。

このように、空き家の活用によ



御来屋港の堤防を彩る240×1,440cmの壁画制作では、子どもたちアイデアを取り入れて作成した壁画に、延べ200人以上が筆を入れた

り新しい人材が大山町に移り住み、町の人たちと関わることは、新たな活気を生み出すことにもなります。空き家をお持ちで、活用されていないみなさん、空き家バンクの登録を検討しませんか？

公立美術館で初の朝倉さんの個展が開催されます。大山町にまつわる作品も多数出展予定です。

米子市美術館 若手作家支援展

朝倉 弘平

「雲わく庭から」

観覧無料

会期 令和4年2月11日(祝・金)～3月6日(日)

休館日 毎週水曜

※2/23(祝・水)は開館

開館時間 10時～18時

会場 米子市美術館 第4展示室

米子市中町12番地

(展示会に関するお問い合わせ)

0859-134-2424 (美術館)

問 企画課

0859-154-5202